

H31 1 二

【出題の趣旨】文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができるかどうかをみる。

【正答】2 と 5 と解答しているもの

【予想される誤答】1 3 4 と解答しているもの

5 4 3 2 1

インターネットを利用して、様々な国の弁当を取り寄せることができる。
主食、主菜、副菜などが収まっており、栄養バランスのよい食事をとることができる。
ボックスランチやカスクルトなどとは異なり、戸外に持ち出して食べることができる。
いろいろな料理が詰められているので、食べ物の風味を保つことができる。
様々なデザインの弁当箱があり、自分の好みのものを選ぶことができる。

「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを、次の1から5までのの中から全て選びなさい。

出典「平成31年度全国学力・学習状況調査」（文部科学省）

全国中学生新聞 2019年(平成31年)4月14日(日曜日) 文化 6

海外に広がる弁当の魅力

(シリーズ)再発見! 日本の文化



カスクルト

アメリカのカスクランチやフランスのカスクルトなど、日本の弁当のように戸外に持ち出して食べることができる食事は、昔から各国にあり、それぞれの国で親しまれています。そのような中、日本の弁当が海外の様々なメディアで取り上げられ、国際的な弁当のコンクールが開催されたりしています。私たちの身近にあり、特別なものではない弁当が、今、海外で話題になっているのです。

弁当の一番の魅力は、小さな箱の中にいろいろな料理が詰められていることです。主食、主菜、副菜、時には果物まできれいに収まっています。そのため、栄養バランスがよい食事として、健康志向の高まりとともに、海外でも注目されるようになったのです。トマトの赤色や卵焼きの黄色などで宝箱のように、まるで工芸品のように見えて、海外の方もいます。

また、様々なデザインの弁当箱を好みに応じて選べることも、弁当の魅力の一つです。例えば、フランス

のデパートの食器売り場でも、おしやれでカラフルな弁当箱がたくさん売られています。さらに、料理をおいしく食べるための優れた機能をもった弁当箱もあります。例えば、日本に古くからある「曲げわっぱ」という木製の弁当箱は、木が湿気を吸うので料理が腐りにくく、食べ物の風味が保たれるという利点があります。美しい木目や色合い、木の香りなども楽しめる「曲げわっぱ」は、海外でも広く知られています。

弁当は、誰かのために作ったり、皆で持ち寄って和気あいあいと食べたりのこともあります。こうした、

日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。例えば、「弁当」(bento)、「漬物」(tsukemono)、「味噌」(miso)、「おにぎり」(onigiri)、「折紙」(origami)などは、英語やフランス語などの辞書に載っており、海外で受け入れられていることが分かります。本シリーズでは、この五つの日本の文化を取り上げ、五回にわたって、その魅力を紹介していきます。第1回は、弁当です。

1 2 3 4 5 「弁当」



曲げわっぱの弁当

次回は、「漬物」を取り上げます。

「全国中学生新聞」

【予想される誤答の主な原因】

- 文章と選択肢の内容や構造を的確に読み取り、情報を整理して、内容を捉えられない。
- 「1」: インターネットを利用して、何が行われているのかを整理できていない。
- 「3」: 「戸外に持ち出して食べることができる」ものを読み取れていない。
- 「4」: 食べ物の風味を保つ、『曲げわっぱ』という木製の弁当箱の内容を読み取れていない。
- 適切なものを「全て」選ぶことができていない。文章の展開に即して必要な情報を過不足なく捉えることに課題がある。
- 複数の情報を整理することに課題がある。

【指導のポイント】

- 「全国中学生新聞」の該当する記事を正確に読み取らせるために、段落ごとの内容を要約するなどして整理させる。
- 記事と選択肢の内容を関連付けて読ませ、内容を正しく捉えさせる。その際、キーワードとなる語を明らかにしたり、情報同士を関連付ける線を引かせたりしながら読み取らせる。
- 新聞や雑誌など様々な媒体に触れたり、文章の種類による叙述の特徴を捉えながら読んだりさせる。

【過去の関連問題】全国学力・学習状況調査 H24A 6 一、H26B 2 一、H27B 2 二、H28B 2 二、H30B 1 三

H31 4

【出題の趣旨】語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解しているかどうかをみる。

【正答】1 と 3 と解答しているもの

【予想される誤答】 1または 1と2、1と4、1と2と4 と解答しているもの
3または 2と3、3と4、2と3と4 と解答しているもの

【予想される誤答の主な原因】

- 語の一部を省いた表現について、多様な場面や状況に応じた適切な活用の仕方を考えることに課題がある。語の一部を省いた表現の使用が可能であるのは、以下のような状況であることを、理解できていない。
- ① 取り上げて内容について言葉の使い手と受け手とが互いに分かっている場合
- ② 伝えたいことと異なる意味で受け取られない状況のとき 等
- 年配者と、年少者や若者との間には、それぞれの世代に特有の言葉遣いがあることなどを理解できていない。
- 適切な選択肢を「二つ」選べていない。選択肢の内容や構造を的確に読み取り、情報を整理して、内容を捉えられない。

【指導のポイント】

- 言葉の特徴やきまりに関する事項などについては単に知識として教えるのではなく、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の領域と関連付けた指導を通して、実際の言語活動の中で活用しながら身に付くようにする。
- (例)「B 書くこと」: スピーチの原稿を推敲する際、聞き手に応じた言葉遣いにする。
- 相手、目的や意図、多様な場面や状況などを具体化し、生徒にとって相手意識や目的意識が明確となる言語活動を設定する。
- 生徒が理解したり表現したりする際の言語についての感覚を豊かにするには、多様な場面や状況における学習の積み重ねや、継続的な読書、言語環境の整備が重要である。

私たちは、話したり書いたりする際に、「インターネット」のことを「ネット」というなど、語の一部を省いて表現することがあります。語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを、次の1から4までのの中から二つ選びなさい。

1 何の話をしているのかについて互いに分かっている場合には、語の一部を省いた表現の使用で済むことがある。

2 どの年代の人にも正確に理解してもらうためには、できるだけ多くの語を、語の一部を省いた表現に直すとよい。

3 語の一部を省いた表現が、伝えたいことは異なる意味で受け取られそうな状況では、その表現を用いない方がよい。

4 語の一部を省くことが一般的でない表現の場合でも、語の一部を省いた表現を様々な場面で用いる方がよい。

「全国中学生新聞」より抜粋

みんなの短歌

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と
中二 森川 リカ

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽くなる
中三 松田 花子

出典「平成31年度全国学力・学習状況調査」（文部科学省）を加工して作成

【正答例】

- 「新しい」と「背筋伸ばして始まりを待つ」という表現から、新年度の最初の授業の始まりを期待と不安が混ざった気持ちで待っている様子が想像できます。新年度を迎えると、皆気持ちを引き締めたり決意を新たにしたりするものです。
- 「玄関の鏡の前」という言葉から、家を出る前の様子であることが想像できる。また「もう一度」という言葉から、何度も服装などを整えて気持ちよく登校したいと思っていることが感じられる。私も登校する前に毎朝鏡を見るので、この短歌の登場人物の身だしなみを気にする気持ちがよくわかる。
- 「春風がいつもの道を駆け抜ける」から、暖かな春の風が吹く通学路の情景が思い浮かびます。「駆け抜ける」という擬人法を用いた表現が、その情景を生生きとしたものになっています。

【予想される誤答の主な原因】

- ・選んだ短歌について、情景や心情を表す言葉を適切に取り上げることができない。
- ・自分が感じたことや考えたことを具体的に書いていない。
- ・短歌の中の言葉を取り上げて書いていない。

授業場面で（文章に表れてるものの見方や考え方について自分の考えをもつ授業）

新一年生に伝えたい短歌のよさをまとめてみよう。

私は泉さんに短歌のよさを伝えます。緊張して、早く目覚めてしまった泉さんの心は「ジリジリジリ」と鳴るはずだった時計の音と同じくらい大きな音で鳴っていたんだろうと思いました。誰もが経験する、不安や期待でいっぱい「入学の朝」の様子が伝わります。私自身が、入学式で抱いた夢や目標が思い出されました。読んだ人の気持ちが引き締まる、すてきな短歌だと思います。

「ジリジリジリ」と「入学の朝」という言葉に着目して、新一年生の入学式の日の気持ちを読み取っているところが、いいですね。また、自分自身の考えをもてたことも素晴らしいです。

Point 文章等を読み、自分の考えをもつためには、心情や情景を表す言葉や表現の工夫に着目した読み方をすることが大切であることを振り返らせませす。

新一年生の思いや様子が伝わる言葉を出し合い、工夫点を見つけましょう。

Point 作者の思いを捉える手がかりとなる言葉や表現の工夫に着目させ、自分の思いや考えを明らかにさせませす。

内山さんの短歌の「新しい」という言葉で、新学期だとわかります。また、泉さんと同じように緊張しているけど、「背筋伸ばして」「始まりを待つ」という言葉で、初めての授業に対してやる気がいっぱいの気持ちが伝わります。

泉さんと内山さんの短歌を比べて考えると、同じように緊張していても、少し違うところがあると感じたんですね。

「ジリジリジリ」という言葉の前に、「目が覚める」とあるのは、倒置法ではないかな？目覚まし時計よりも早く目が覚めてしまった！と緊張を強調して伝えていると思います。

皆さんも一年生の時は、泉さんや内山さんと同じような気持ちではなかったですか？どの言葉から自分のことを思い出しますか？

Point 文章等に対して、自分の考えをもたせるために、感じたり、考えたりしたことを言葉や表現と結び付けて考えさせませす。

二人の新一年生が短歌をつくりました。よさを伝えてあげましょう。

よさを伝えるにはどうしたらいいのかな。

泉さんの短歌の中で気持ちがよく伝わってくる言葉と、そう考えた理由を発表してください。

私は、「入学の朝」です。なぜなら、特別な一日の朝だから、緊張しているはずだからです。

私は「鳴る前に」です。目覚まし時計が鳴る前に目が覚めるほど、緊張していたことを伝えようとしたと思うからです。

二人の考えはそれぞれ違いますね。短歌の中からキーワードを見つけると、短歌の工夫点がはっきりします。そこから短歌のよさがわかりそうですね。

Point 考えの不足に気付かせたり、新たな発見をさせたりして、生徒の課題意識を高め、本時のめあてを明確にします。

終末 展開 導入

めあて

短歌の言葉や表現に着目し、短歌についての自分の考えをもとう。

目が覚めるジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

導入

作者の思いや様子が伝わる言葉や表現は？

「選者より」から読み取れる工夫

「ジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」に着目

着目した言葉から想像できることや体験を書いている。

展開

短歌について思ったこと・考えたこと

- ・ 同じような経験があり、よくわかる。
- ・ 入学の朝は、誰もが経験する特別な時間だ。
- ・ 初めての授業はやる気がいっぱいだった。
- ・ 入学式で抱いた夢や目標が思い出され、気が引き締まる。

短歌について思ったこと・考えたことをもとに鑑賞文を書こう。

終末

文章等を読み、自分の考えをもつには、心情や情景を表す言葉や、表現の工夫に着目して読むことが大切。

まとめ